



本 庄

ロータリークラブ会報

ロータリーは分かちあいの心

No.45-15 第2166回 例会 10月18日 2007年 10月25日 発行

2007~08年度 国際ロータリー会長 ウィリアム・ビル・ボイド 第2570地区 ガバナー 石川喜彦

会長 岡崎正六 会長エレクト 金子 弘 副会長 武井包光 副会長 橋本恒男 幹事 矢島淳一

《本日の例会》

職業奉仕月間

卓 話

山根益男ガバナー補佐 (秩父 RC)

書類の閲覧歴史と現況等についての談話を戴きました。本当に良く出来ておりますとのお褒めの言葉を戴きました。お陰様で本庄ロータリー会員はじめ家族の理解の賜物と感謝しております。有難うございました。後ほど卓話をお願い致します。

報告事項

進 行 田中 克 SAAチーフ
点 鐘 午後 12 時 30 分 岡崎正六 会長
ソング それでこそロータリー
童 謡 もみじ
お客様 山根益男ガバナー補佐 (秩父 RC)

1. 日豪青少年相互訪問団員候補者にクラブで推薦しました、今泉祐君が選考にみごと合格との通知を戴きました。おめでとうございます。
2. 国際 RC 第 2 5 7 0 地区 C、L、P(クラブリーダーシッププラン)の対応について本庄ロータリークラブとして、C、L、P 検討 特別委員会を開催いたしました。この件につきまして、後ほど、金子弘会長ノミニ、報告お願い致します。
3. 2 5 7 0 地区国際親善副委員長茂木正さん、本庄 RC 金子章さんネパール学校建設の現地訪問を終え帰国いたしました。ご苦労様でした。
4. 次週は移動例会です(家族同伴)、11月1日はガバナー訪問、11月16日第4グループのIMです。全員参加できるようお願い致します。

〔会長挨拶〕

岡崎正六 会長



皆さん今日は。北国より雪の便りが聞こえる季節になりました。本当に月日が過ぎるのが早く感じられます。年度前からガバナー補佐訪問の日程が組まれていた10月18日は、まだまだ先の事と思っておりましたがあっとゆう間に当日になってしまいました。

本日のお客様の紹介を致します2007-2008年度国際ロータリー第2570地区第4グループガバナー補佐、山根益男様です。10時30分~12時迄、会長、幹事、事務局を交えて関係

〔幹事報告〕

矢島淳一 幹事



皆様こんにちは。幹事報告を申し上げます。
先日、ガバナー公式訪問とIM参加のお知らせを
願いをFAX致しました。出欠席の締め切りが10
月20日となっていますので返事のほどよろしくお
願い致します。IMのエクスカッションが式典の前
にありますご希望のかたはお申し出てください。
10月22日6時半よりグランドホテルにて行います。
理事の皆様にはよろしく願い致します。

地区、米山奨学委員会より奨学生の行方を捜し
ていますというお知らせが参っています。また、
日頃、皆様には奨学生基金にはご協力いただき
ておりますが、このたび集計報告がまいりました
ので後程回覧させていただきます。よろしくおねが
いいたします。

本日の幹事報告は以上です。ありがとうございました。

〔地区セニナー報告〕

国際奉仕委員会 戸谷清一 委員長



「地区国際奉仕部門セミナー」の報告
出席者 岡崎会長、茂木 正地区副委員長、
金子 章会員、戸谷清一会員

- ① ネパール訪問体験報告 茂木 正会員
金子 章会員
 - ② ネパール里親制度への推奨、啓発。学校建設
 - ③ ミャンマー識字教育支援に教育環境整備寄附
 - ④ 地雷除去支援活動（アフガニスタン他）
 - ⑤ 第32回日豪青年相互訪問団の派遣
- 本庄ロータリークラブより今泉会員のご子息、今
泉祐君が団員として参加します。（15名派遣）

〔委員会報告〕

金子 弘 会長ノミニ



第1回 CLP研究部会（10月13日（土））より

- ① クラブリーダーシップについて
配布資料（地区の「クラブリーダーシッププ
ラン」（CLP）対応について）
CLPにつき、現在までの流れ及び現状報告
CLPの意義
本庄ロータリークラブとしての対応
急ぎ、次年度の組織構成については、小委員
会をまとめてゆく方向とする。
この検討のための特別委員会での協議をへて、
クラブとしての本格的なCLP導入をはかる。
- ② 特別委員会、委員長に渋谷直前会長を選任
特別委員会を、来年6月まで月1回開催しC
LPにつき検討してゆく
検討にあたり、地区・他のクラブの動向にも注視
してゆく

親睦委員会 中島高夫 委員長



次回例会プログラムのご案内。
夫婦同伴の移動夜間例会として、「上里のユニク
ス」にて映画鑑賞その後、「こい家」において食
事会の予定となっております。

〔例会プログラム説明〕

プログラム委員会 岡芹正美委員



本日は、第2570地区第4グループガバナー
補佐 山根益男様においでいただきました。
続いて、秩父RCよりおいでいただいた山根氏のプ
ロフィールの紹介をする。

〔卓 話〕

山根益男ガバナー補佐



1年間、第4グループのガバナー補佐を務めます秩父ロータリークラブの山根です。よろしくお願ひ致します。

本庄ロータリークラブは、カバナーを2名、分区代理・ガバナー補佐を10名輩出した、次次年度には加藤玄静ガバナーが誕生する名門クラブであります。その名門クラブを訪問でき、大変嬉しく思っています。8月2日の例会訪問に続き、本日は、ガバナー補佐で参りました。次は、石川ガバナー公式訪問の時に参りますのでよろしくお願ひ致します。

ガバナー補佐の役割は、よく聞く言葉に「籠に乗る人、担ぐ人、そのまたわらじを作る人」という言葉がありますが、この言葉がガバナー補佐としての、私の職務を全て表しています。ぜひ、この1年間、石川ガバナーを乗せた籠を、各クラブの会長・幹事をはじめとして全ての会員の皆様に担いで頂きたいと思ひます。

私は皆様のわらじを精一杯作りますので、石川ガバナーをご支援して頂きますようよろしくお願ひ致します。

ガバナー補佐の重要な職務の詳細は、

- 1 グループ内のクラブを支援し、会長・幹事との信頼関係を築くこと。
- 2 各クラブの要望をガバナーへ、また、ガバナー・各部門長の方針を、各クラブにスムーズに伝達することです。強いて言えば、石川ガバナーと会長・幹事・全ての会員の皆様との信頼関係を築く、補佐をすることだと思ひます。

以上の職務を精一杯勤めますので、ご支援をよろしくお願ひいたします。

ガバナー補佐訪問の目的は3つあります。

第1に、クラブ運営関係の書類を点検すること、第2に、クラブの運営上の問題を会長幹事と話し合い、クラブを支援すること第3に、石川ガバナーの公式訪問の下準備をすることです。

第1の目的の書類の点検は、事務局の2名の方が、しっかり職務を分担し各書類が年度毎にファイリングされ、また、コンピューター内の資料も年度ごとに保存されています。大変良くできていると思ひます。

第2の目的の会長幹事との話し合いで感じたことは、会長・幹事が大変誠実で人柄が良く、但しその中にも緻密にクラブを運営していることが解りました。例会のシナリオを詳細に作成し、例会を進行することは私自身も大変勉強になりました。

第3の目的のガバナー公式訪問の下準備では、ガバナー懇談会、ガバナーの卓話、クラブ協議会の進め方について打合せさせて頂きました。石川ガバナーは、大変気さくで、知識が豊富なガバナーであります。公式訪問の時に、十分に対話を楽しんで頂くために、卓話をさせて頂きます。

まず最初に、ウィルキンソンR I会長の紹介を致します。会計業務のウィルキンソン社の創立者であります。カナダのクインテ・バレエスクールのエグゼクティブディレクターであり全米法廷会計士協会のカナダ人コーディネーターであります。

1962年

カナダ・トレントンロータリークラブ入会

92-94年度

R I 理事

93-94年度

R I 副会長

2005年

100周年国際大会

シカゴ国際大会実行委員長

ウィルキンソンR I会長は1つのテーマ、6つの方針、4つの強調事項を示しています。テーマは「ロータリーは分かちあいの心」であります。要約しますと「分かちあいの心」とは「自分自身に不要となったものを施すことではなく、人のために我を忘れて自らを捧げること」とウィルキンソン会長は申しております。

次に、6つの方針を説明します。

1 クラブ奉仕

クラブ奉仕を通じて分かちあうことはクラブ奉仕を通じて、人のために我を忘れて自らを捧げること

ロータリークラブがなければロータリーは存在しません。そのために、クラブが常に開放的で親しみに溢れ、資格を有する人であればどんな人でも会員として迎え入れることができる環境作りをすることです。

2 職業奉仕

職業奉仕を通じて分かちあうことは職業奉仕を通じて、人のために我を忘れて自らを捧げること

は取引や仕事上の決定を行う際には、必ずロータリーの倫理観に照らすよう自らを律つすることで

す。北海道のミートホープ事件は大変残念なことであります。

3 社会奉仕

社会奉仕を通じて分かちあうことは社会奉仕を通じて、人のために我を忘れて自らを捧げることは地元のニーズに取り組むことは、私たちの第一の責務が地元地域にあるからです。「ロータリーはよいことをしてくれる」と言ってもらえるよう地元社会でその存在感を高める努力を惜しまないことです。

4 国際奉仕

国際奉仕を通じて分かちあうことは国際奉仕を通じて、人のために我を忘れて自らを捧げることは地元地域のニーズについて知るのが私たちの仕事です。その上で、地元だけでは賄いきれないとなれば、世界中のロータリアンから援助を求めることが出来ます。そのミニ版がロータリー財団の補助金制度だと思います。その制度を活用することをお勧めします。

5 青少年活動

青少年活動を通じて分かちあうことは人のために我を忘れて自らを捧げることは青少年はロータリーだけでなく、全ての人々にとっての未来であるからです。私たちがロータリーを譲る日が来た時に、新世代が、この例会場の席を埋め尽くしてくれるはずです。

6 会員増強

会員増強を通じて分かちあうことは人のために我を忘れて自らを捧げることは新しい会員を増やし、既存会員を維持し続けなければロータリーは生き残れません。私たちの活動が、いかに立派で尊いものであっても、新しい会員がいなければ、ロータリーは数十年の間に消滅してしまうからです。

続きまして、4つの強調事項を説明します。

1 識字率向上

識字はあらゆる教育の土台であり、貧困緩和、経済発展に欠かせない要素です。しかし、世界には8億人以上の人々が読み書きができずにいます。

2 水保全

世界人口の20%、約12億人の人々が安全で清潔な飲料水を得ることができません。26億人もの人々は、基本的な衛生設備さえありません。こうした状況が貧困や社会不安を招いています。

3 保健と飢餓救済

HIVやマラリアのような予防できる病気で、毎年600万人以上の人々が亡くなっています。660万人以上の子供たちが、5歳の誕生日を迎えること無く亡くなっています。保健問題は、病気や飢餓と関連しています。きれいな水と健康と読み書きの能力が授ければ、多くの人々に自助自立の道が開かれます。

4 ロータリー家族

互いを思いやり、助け合うことでロータリーが末永く存続し、意義ある活動を続けることができるということでもあります。

次に、石川ガバナーの紹介を致します。

氏名	石川 嘉彦 いしかわ よしひこ
生年月日	1939年(昭和14年) 12月2日生 67歳
学歴	1962年(昭和37年)立教大学理学部物理学科
職歴	1962年にコーンズ商会(外資系商社)に入社しイギリス駐在 1967年にコーンズ商会を家庭の事情で退社 1967年 工業薬品系の製造会社の東和プロジェクト(株)代表取締役就任

80数年前、当時の輸出産業の花形だった生糸生産の石川組の4代目当主であります。当時の外国人バイヤーの迎賓館が石川ガバナーの生家であり、現在は国の登録有形文化財になっています。月信7月号の表紙の写真が生家であり、人にお伺いしますと入間の殿様という答が返ってきます。

ロータリー歴

1979年12月	入間ロータリークラブ入会
02-03年度	入間ロータリークラブ会長
05-06年度	第3グループ ガバナー補佐

石川ガバナーは今年度、1つのテーマ、9つの方針を示していますが、その前に大きな課題を、ガバナー補佐をはじめ、会長幹事、全ての会員に示しています。それは第2570地区の質を高めることであります。

第2570地区の会員数は、10年前に約2,800名、今年度の7月1日の会員数は2,003名で、800名以上、会員が減少しています。

第4グループでも、5年前は、約550名の会員がいましたが、現在は457名のスタートです。約100名の会員が減少しています。

石川ガバナーは、この会員数の激減を憂え、第2570地区の質を高めることで会員の退会防止、会員保持を計ろうとしています。

私自身も、ガバナー補佐になる前に宮前洋一元ガバナー補佐から聞いた話とは大分違い、当初は大変戸惑いました。会長も、例年と比べ、年度開始前の会議数は多分、2倍になっていると思います。ということで、これから石川ガバナーの1つのテーマ、9つの方針についてお話をさせていただきます。

テーマは「We are family 私たちは家族」であります。サブテーマは「あなたの隣のロータリアンを大切にしましょう」であります。分かちあいの心はまず自分の家族から始まり、両親、配偶者、子供や孫達へ、ロータリーの仲間へ、友人へ、地域の人々へ、国家へ、そして世界中の人々へ広げていきましょう。全ての人々は我々の家族なのです。私たちが熱意を持って愛と親切を分かちあう時、喜びと感動が私たちの手に入ると申しています。

次に、9つの方針であります

1 会員増強

増強委員にだけ任せるのではなく、会長自ら新会員1人を入会させて下さい。

また、退会防止という言葉を使用するのではなく、会員保持と言うことを強調して下さい。

2 ロータリー財団及び米山奨学会への支援

102年の歴史を持つ世界で一番古い団体であるロータリーが、世の中のためになしてきた誇るべき事業の推進のために支援しましょう。私たちロータリアンは、幸いに少しの富を得ています。それらを世の中のために分かちあうということがあります。

3 地区をあげての大型社会奉仕プロジェクトの検討

ロータリーのイメージを高揚するために、地域社会のニーズを調査して、実施できるプロジェクトを検討することを提唱しています。

4 CLPについて

CLPは、真下ガバナー年度で実施します。各クラブでは、会長を先頭にして次年度、自クラブをCLPにどう適合させるかクラブ協議会等を通して検討して下さい。

5 IMの開催

IMは友人を広げ、友好を深め、共に語り合える機会を作るという大きな意義があります。IMを開催するよう指示されています。今年のIMは、

11月16日(金)に、秩父市のナチュラルファームシティで開催致します。テーマは「私たちは家族」であります。奥様も含め、多くの会員の皆様に参加して頂きたいと思っております。式典の前に、IMでは前例がありませんが、エクスカージョンを企画しました。1300Mの武甲山に鉱山用の自動車で登頂し、秋の秩父盆地を楽しんで頂きたいと思っております。また、式典に続きましての協議会では、各クラブの会長に「私たちは家族」のテーマについて、5分間づつ発表して頂きます。また、懇親会では、秩父名物野生料理懇親会として、猪鍋・鹿鍋・きのこの鍋・打立てのそば等の料理や餅つき、秩父の地酒、岩魚の骨酒等を用意致しました。大抽選会では、参加者全員に当選するように、秩父夜祭宿泊券、秩父夜祭棧敷券、ちちぶの無農薬野菜、トラクター一杯の砂利等を用意してあります。ご期待をして頂きたいと思っております。

6 ブライダル委員会の設置

ロータリアンの子弟、またはロータリアンが推薦できる若者に結婚の機会を与えるためにブライダル委員会を設置します。

7 高校生社会体験活動

鈴木年度の事業である社会体験学習を継続するために、ロータリーは事業所を学習の場として提供して下さい。

8 RYLA (Rotary Youth Leadership Awards 青少年指導者養成プログラム)

ライラを継続しよう

9 GSE (ロータリー財団研究グループ交換プログラム)

GSEを継続しよう特に、第4グループは、RI第6710地区アメリカ・ケンタッキー州との交換プログラムのために、2008年4月4日(金)ー9日(水)の間5名の研究グループを受け入れます。ご協力の程、お願い致します。

最後になりますが、私自身は、まだまだロータリーの悟りを開いておりませんが、山に囲まれた秩父に住む一会社の間人、世界中の子供達のために、ポリオワクチンの供与に協力したり、地雷の除去を支援したり、また、国際親善のために、交換学生、奨学生に関与する機会を与えられる、また、参加していると考えますと、私自身も、社会貢献、世界貢献をしているという自信が湧いてきます。もし、ロータリーに入会していなければ、秩父で「井の中の蛙」になっていたでしょうし、また、秩父地域以外の皆様にもお会いできませんでした。

私が26歳の時、父が脳梗塞で倒れ、一晩で世代交代をした時に、会社を救い、私を指導して頂い

たのは、得意先であり、仕入先であり、社員であり、そして家族でした。人に会社や私自身を助けて貰いましたし、成長させて貰いました。人との出会いがあったればこそ、私はここに生きているのだと思います。

私はロータリーは人材の宝庫だと常日頃、いろいろな人に話しています。

ロータリーに入っていないなければ、そのすばらしい人達との出会いもありませんでした。これがロータリーだと思います。今、人から「ロータリーを愛していますか」と聞かれれば、素直に「愛しています」と胸を張って応えられます。ぜひ、皆様もロータリーを愛して頂きますようお願いし、卓話とさせていただきます。ご静聴ありがとうございました。

出席率

会員数	出席免除 会員数	出席義務 会員数	出席 会員数	出席率
73名	8名	65名	49名	81.5%

〔ニコニコBOX〕

藤井 仁様

「ニコニコボックスの皆さんご苦労様です。」

「第2570地区第4グループガバナー補佐としての卓話をお願いします。」



岡崎正六 矢島淳一 田中 克 今泉憲治
 下山正男 坂本雄一 内野昭八郎 茂木 聡
 武井包光 竹並栄一郎 坂本優蔵 加藤玄静
 渋谷修身 岩淵富男 戸谷 丈 橋本恒男
 真下恵司 岡芹正美 野村正行 立石秀寿
 巴 高志 茂木 正 福島文江 佐藤賀則
 梅村孝雄 温井一英 春山茂之 横尾セツ
 八木茂幸 小此木利明 戸谷清一 澁澤健司
 中島高夫 金子 弘 井下 典 五十嵐敦子

本日投入金額合計 37,000 円

次回プログラム

日時：10月25日(木曜日) 夜間例会

第四例会 45-16 第2167回

夫婦同伴夜間例会

ユニクス映画鑑賞 食事会

広聴広報委員会 小此木利明・山田喜一・金子 章

■例会日 毎週木曜日 12:30~13:30
 ■事務所 埼玉グランドホテル本庄700号
 〒367-0041 本庄市駅南2-2-1
 TEL 0495-22-7522 FAX 0495-22-3571

■例会場 埼玉グランドホテル本庄
 Eメール honjorc@themis.ocn.ne.jp
 ホームページ
<http://www.globals.jp/hp/HRotary/index.html>